

SDGs教育日本一、目指すは社会変革への貢献。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変革するための17の目標



SDGs教育

皆さんが社会の中心となり活躍する20～30年後の世界・社会では、SDGsに全く関わりのない企業や仕事は存在しないでしょう。SDGsを学ぶことは「生きる力を育むこと」。そしてSDGs教育とは「未来の地球人を創る教育」であると考えています。

SDGs教育日本一に向けて

郁文館夢学園は「SDGs教育日本一」を目指しておりその日本一の定義を右記の4つとしています。

- 01 日本で一番、生徒がSDGsを学び、体感できる環境が提供できていること
- 02 日本で一番、教職員がSDGsを意識し、体感できる制度及び職場環境があること
- 03 日本で一番、地球環境にやさしい学校運営ができていくこと
- 04 日本で一番、SDGsに関心と知識を持ち、自ら行動に移すことができる人材を輩出する中学・高校であること

郁文館の様々な取り組み

SDGsコーナーの設置

校舎内の各所に「環境」「健康・福祉」など、SDGsの目標をテーマ別にまとめた展示ブースを設置しています。



SDGs weekの実施

定期的に行われるSDGsweekでは、学食でSDGsに関連したメニューが提供されます。



大豆ミートハンバーグ

すべての学びをSDGsに

郁文館では、各教科の授業内容をSDGs各項目と関連づけて学べるようにシラバスを作成しています。



風車の力で「RE100」達成

郁文館の校舎は、100%風車の再生可能エネルギーで運営されています。



秋田県にかほ市
夢風車「風民」

「SAGE JAPAN CUP 2023」優勝

高校生の社会貢献プロジェクト提案「SAGE JAPAN CUP」で、「[生産の貧困]」をテーマに、途上国の女性向けに再利用可能な布ナプキンを考案。



SDGs 高大連携

学園内に設立されたSDGs推進部が、より充実したSDGs教育の実践を目指し、外部団体とのパートナーシップを推進しています。



養蜂プロジェクト

学校の屋上農園に養蜂箱を設置。人間と自然の共生を学ぶことを目的に、生徒たちと探蜜を行っています。



SDGs食育活動

有機牧草のみを食べて育った牛のミルクから作られた「グラスフェッドアイス」を販売しており、食を通してSDGsに触れることができます。



SDGs 海外研修プログラム

Topic 01

カンボジアプログラム（希望参加制）

渡邊理事長兼校長が代表理事を務める公益財団法人が運営する孤児院や日本語学校、中学校を訪問して子どもたちと交流したり、現地の住宅街を訪れ、焼き出しなどのボランティア活動を行うことで、発展途上国の現状を身をもって体感することができます。また、様々な文化遺産や博物館にも訪問し、カンボジアの歴史や文化、現地の生活を五感で学んでいます。



Topic 02

バングラデシュプログラム（希望参加制）

現地にある郁文館夢学園が運営する姉妹校NDMSC（ナラヤンクルドリーム モデル スクール アンド カレッジ）を訪問し、同年代の生徒と一緒に授業を受けたり様々な異文化交流を行っています。また、生徒の自宅やスラム街、グラミン銀行などを訪問し、経済成長著しいバングラデシュの現状を肌で学んでいます。

